

第4次岡谷市子ども読書活動推進計画(案)の  
パブリックコメントの結果について

○パブリックコメントの期間:令和6年1月12日～1月31日

◎提出されたご意見 2件(個人)

デジタル社会の急速な発展により本離れが進んでいる現在において、読書の必要性が以前より注目されています。読書が人間の成長や感性を育てる重要なことから、この策定計画の意義があります。「ファーストブック」事業等により幼少より読書習慣を身につけ、心豊かな人間に育つ為にも、このような継続した計画・具体的な取り組みの必要性がありますので、是非今後に向けより推進してください。

図書館の読書推進計画と共に、今後の図書館の存在意義についてしっかりと考えることも必要だと思えます。「市民は図書館に何を望んでいるのか?」「地域にとって図書館に揃えてもらいたい本は何なのか?」市民は売れている本を1日も早く図書館に望むと同じく、「自分では買えない本」「他では容易に手にできない本」を望んでいると思えます。特色をもっと前面に出して下さい。

- ・第4次の読書活動推進計画は、おはなしボランティアの活動をより発展させていこうとする計画になっており、活動をしている者として、おおいに励まされます。ファーストブック事業等により、近年は母親だけではなく父親も子どもに読み聞かせをしてくれるようになり、社会全体として子ども読書に対する興味関心は高まっているように思います。反面、以前より子育て環境が整い就労しやすくなったこともあり、おはなしボランティアの活動に携わる方が減少してきているように思います。そういう意味でも、ボランティアの育成支援には、大きく期待をしています。
- ・来館者とのコミュニケーションを大切にする取り組みには、ぜひ力を入れていただきたいです。日常の何気ない職員との温かなやりとりが、子どもたちを図書館好きにする第一歩だと感じています。
- ・公民館図書室に行くと、学校帰りの子どもたちで大賑わいのことがありました。「本」とのふれあいだけでなく「人」とのふれあいの場、子どもたちの大切な居場所になっていると思います。この計画でも、公民館図書室の一層の活用がうたわれており、本を通しての子どもたちの心の安定、成長を期待します。
- ・近年子どもたちも多忙となり、行事に集めるのは難しい時代に入りました。さまざまな地域活動に出かけて行くという姿勢も良いと思います。
- ・おはなしの森の再構築も期待しています。
- ・これは無理、とあきらめてしまわずに、是非まずやってみてください。おはなしボランティアのみなさんも協力したいと思っているはずです。